

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

計画の名称：八千代市における流域一体となった総合的な未普及解消及び浸水対策の推進

事業主体名：八千代市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画との整合性 (流総・全県構想・全体計画を策定済であること)	<input type="radio"/>
2) 地域の課題への対応 全体計画の見直しにより、今後調整区域、工業地域の一部について下水道管渠整備を予定している。	<input type="radio"/>
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。 (「計画の目標」と「計画の成果目標(定量的指標)」が一致している)	<input type="radio"/>
2) 定量的指標の明瞭性 現事業認可と将来事業認可取得予定と整合している。	<input type="radio"/>
3) 目標と事業内容との整合性が確保されている。 (「計画の目標」と「交付対象事業」を数値示している。)	<input type="radio"/>
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 下水道普及率は変わらないが、都市浸水対策を行うことで、浸水被害の軽減が見込める。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境 (事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) パブコメ、八千代市計画下水道の公告・縦覧を行うことにより住民等に幅広く周知を図っている。	<input type="radio"/>
2) 地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 下水道全体計画の見直しを行うにあたり下水道未実施区域にアンケートを行い住民要望を吸い上げた上で下水道計画に反映させている。	<input type="radio"/>